

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	学級活動：「親子で学ぶセーフネット講座」	
キーワード		
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c3-1: 何がルール・マナーに反する行為かを知り、尊重する
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	インターネットや携帯を使用する上での危険性を知り、気をつけなければいけないことを理解し、インターネットのルールを親子で学ぶ	
使用教材	教材名	「親子で学ぶセーフネット講座」
	製作者	ひまわりっ子セーフティーンズ推進事業
	入手先(URL等)	ひまわりっ子セーフティーンズ推進事業

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1. 電子黒板に映された画像を見る。 2. インターネットはいろいろと便利であることを確認する。	・ インターネットを利用したことを思い出させる。
展開	3. インターネット上でクイズや応募などがあったらどうするか考える。 4. 掲示板やチャットについて知り、ルールなどを理解する。	・ 住所や氏名、生年月日を自分だったら入力するか考えさせる。 ・ 掲示板やチャットの危険性について映像を見たり、説明を聞いたりする。
おわり	5. インターネットでの個人情報の扱いや方の大切さを知る。	自分がインターネットを使うとき、ルールを守って使っていこうとすることができたか。

授業の成果

- ・ 家庭でもインターネットを使用する機会が増えてきている。インターネットや携帯電話は便利である反面、個人情報や発信してしまった情報が取り返しがつかなくなってしまうことを専門家の人に分かりやすく話をしていただき、理解していくことができたようだ。子ども達も興味のあることなので集中して話を聞くことができた。

指導のポイント・留意点

- ・ 親子で話を聞くことができよかった。